

ひらく音

山本啓

仙遊社[雅楽]

ゴングとバカの
鐘
場
歌
の柳沢英輔
+ Gacha Gong Band

谷口未知 (バカがミタカッタ世界)

あかねさす

あかね児童合唱団

あかねさす / 紫野行き / 野守は見ずや / 額田王
標野行き / 君が袖振る / 万葉集Akane Children's Choir
Senyusha

TANIGUCHI Michi a.k.a. BAKAGAMITAKATASEKA

NOMURA Makoto

YAMAMOTO Hiraku

YANAGISAWA Eisuke + Gacha Gong Band

プロジェクトディレクター: 野村誠

新鋭のアーティストが
「鐘」をテーマに作品を
発表。東近江の隠れた
梵鐘スポットに、時代や
ジャンルを超えた新しい
音楽が鳴り響く。

びわ湖・アーティスト・みんぐる 2022 ガチャ・コン音楽祭 vol.2

あかねさす ゴングとバカのひらく音

2022年10月23日(日) 12:50-15:45

滋賀県東近江市(金念寺 金壽堂 竹田神社)

谷口未知 (バカがミタカッタ世界) | 山本啓 | 柳沢英輔 + Gacha Gong Band

あかね児童合唱団 | 仙遊社[雅楽] | 野村誠[プロジェクトディレクター]

あかねさす ギョウギとバカの ひらく音

2022年10月23日(日) 12:50—15:45 滋賀県東近江市(金念寺・金壽堂・竹田神社)

びわ湖・アーティスト・みんぐる『ガチャ・コン音楽祭』は、近江鉄道(ガチャコン)が走る沿線地域を舞台にした地域とアートが結びつく音楽イベントです。Vol.2となる本年のテーマは「鐘(かね)」。東近江に古代大陸から渡ってきた鑄物文化に着想を得て、アーティストが新作をつくりました。土地の音や、儀礼音楽、アンビエント、和歌、合唱、雅楽…まで、これまでつながることのなかった音楽が交錯しあうツアーライブ。さあ、出発の鐘がまもなくここに鳴り響きます。

ツアーライブ

『あかねさす ギョウギ(鐘)とバカ(端歌)の ひらく音』

日時 | 2022年10月23日(日)12:50—15:45 (受付は30分前より「金念寺」境内で行います。)

開催場所 | 金念寺(東近江市八日市金屋2-3-15)、金壽堂(東近江市長町273)、竹田神社(東近江市鑄物師町)

集合場所 | 金念寺 境内鐘樓前(近江鉄道八日市線「八日市」から徒歩約10分 ※専用の駐車場はございません。)

ツアー行程 | 現地集合→金念寺(ライブ鑑賞)→バス移動→金壽堂(ライブ鑑賞)→バス・電車移動→竹田神社(ライブ鑑賞)→現地解散

料金 | バス代 1人500円、鑑賞料(特典付き)一般・大学生1,000円、高校生・18歳以下500円。料金は当日受付にてお支払いください。

※3歳以上は有料です／鑑賞料のみの販売はありません／ツアーでは途中、「大学前」～「朝日野」間を近江鉄道に乗りします。運賃(大人310円、子ども160円)は乗車時に各自でお支払いください。集合場所の最寄駅「八日市」まで近江鉄道をご利用のお客様は、近江鉄道全線が1日乗り放題のワンコインスマイルきっぷがおおすすめです。

定員 | 30人

近江鉄道「八日市駅」

(徒歩移動)

第1鐘

金念寺
※現地集合

鐘づくりワークソン

谷口未知 編曲《Tatara-bushi》

東近江市八日市の金屋という地名は、鑄物師が多く居住し鑄物が地場産業だったことに由来します。江州音頭の誕生に寄与した初代真鍮家好文も鑄物細工師でした。その墓碑がある金念寺の鐘樓を囲んでライブを行います。金念寺の鐘は次の目的地、長村の金壽堂製。谷口未知が、長村梵鐘作りの伝承歌「たたら節」を現代に蘇らせてます。



谷口未知

滋賀県出身、在住。大阪音楽大学短期大学部卒業。音楽ユニット「バカがミタカッ世界」で作詞作曲・歌唱を担当。音楽×映画の祭典「MOOSIC LAB[JOINT] 2020-2021」への参加、舞台・ファッションブランドの展示会での楽曲制作など活動の幅を広げている。

(バス移動)

第2鐘

金壽堂

音と光で感じる梵鐘アンビエント

山本啓 監修《The Homecoming》

東近江市長町は鑄物師の村として知られ、村のほとんどの家が何らかの形で鑄物と関わって暮らしてきました。700年以上の間、各地の社寺の梵鐘を製造していた金壽堂の旧工場ライブを行います。山本啓が、県内の数々の梵鐘を録音して廻りました。梵鐘のピッチに合わせて特別に調律されたピアノとヴァイオリンでの生演奏。梵鐘の音と連動した照明演出で「音の里帰り」を表現します。



山本啓

滋賀県出身のサウンドアーティスト、作曲家、ヴァイオリニスト。インストバンドNABOWAのメンバーとして国内外の大型フェスに多数出演。クラシック以外の表現ができる稀なバイオリニストとして100組を超えるアーティストのライブや作品に参加、映像作品への楽曲提供など幅広く活動中。

(バス移動)

近江鉄道「大学前駅」

(電車移動)

近江鉄道「朝日野駅」

(徒歩移動)

第3鐘

竹田神社
※現地解散

鑄物の社にアジアの銅鑼がひびく

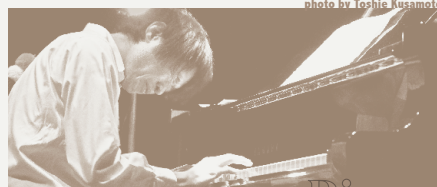
柳沢英輔 監修《Ma Chay》(野村誠作曲《駅名ソング》《あかねさす》、雅楽伝統曲を含む)

東近江市鑄物師町の竹田神社は鑄物の神様と呼ばれ、かつて金壽堂の職人も近江鉄道に乗って毎年お参りされていたといひます。その境内にある能舞台でライブを行います。柳沢英輔が、ベトナムの少数民族に伝承されるギョウギ音楽を神社の空間にインストールします。地元の雅楽奏者と合唱団も参加し、ライブの全出演者で祈りの音を奏で終演します。



柳沢英輔

東京都生まれ。現在、京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科特任助教。主な研究対象はベトナムの金属打楽器ギョウギをめぐる音の文化。現地の調律師から譲り受けたギョウギセットを用いて楽団を結成。主な著書に『ベトナムの大地にギョウギが響く』(灯光舎、2019年)、『フィールド・レコーディング入門』(フィルムアート社、2022年)。
Gacha Gong Band | ベトナム中部高原のギョウギセットを演奏する本公演のために特別に結成された楽団



野村誠

MITO(イタリアのクラシック音楽祭)、Cafe OTO(イギリスのライブハウス)、フレデリック・ショパン音楽大学(ポーランドの音大)、JCRC(香港の福祉施設)など様々な場で演奏/交流するピアニスト。著書に『音楽の未来を作曲する』(晶文社)ほか。実は、イギリス留学中に、教会の鐘の鳴らし方を習っていた。



あかね児童合唱団

平成4年、蒲生地域の青少年育成、『豊かな感性を育てる社会教育』の一環として結成され、今年で30周年を迎える。東近江地域では数少ない児童合唱団であり、地域、学校、学年の垣根を越え、月3回練習に励んでいる。イベント等にも多数出演し、2年に一度定期演奏会を開催している。



仙遊社

明治40年代初頭より鑄物師地域で活動を始め、110年余りの歴史をもつ雅楽継承グループ。現在は9名のメンバーが在籍。演奏は笙、箏、笛、太鼓で構成し、蒲生地区唯一の雅楽奏者として、竹田神社での奏楽の奉仕を中心に活動を続けている。

申込方法 | 下記QRコードまたはHP上の申込フォームに必要事項を入力の上送信してください。1回の申し込みで2名までが可能です。

申込締切 | 10月16日(日)※定員を超えるお申し込みがあった場合は抽選により参加者を決定いたします。



問い合わせ先 | (公財)びわ湖芸術文化財団 法人本部
地域創造部 〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15-1
滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール内
電話 | 077-523-7146
メール | biwako-a-mingle33@biwako-arts.or.jp
HP | https://biwako-mingle.art

アンコール企画 車内放送歌合戦

昨年度の『ガチャ・コン音楽祭』で好評だった駅名ソングを、今年も近江鉄道900形車内で放送。アーティストとの偶発的な出会いを楽しむとともに、いつもとは違う車内放送をお楽しみいただけます。

放送時期 | 10月1日(土)～31日(月)

放送場所 | 近江鉄道900形車内

参加アーティスト | 岡田健太郎、竹澤悦子、鶴見幸代、

日野少年少女合唱団、Hugh Nankivell

参加費 | 無料(ただし近江鉄道乗車賃が必要になります)

※台風、荒天および事故等で運行時間が変更になる場合があります。運行時刻等のお問い合わせは、近江鉄道鉄道部(TEL0749-22-3303[平日8:40～17:20])その他の時間帯は、近江鉄道列車区(TEL0749-23-2856)

びわ湖・アーティスト・みんぐる2022
「ガチャ・コン音楽祭 Vol.2」

プロジェクトディレクター | 野村誠

プロジェクトコーディネーター | 野田智子(Twelve Inc.)、永尾美久

フライヤーデザイン | 大田高亮

主催 | 公益財団法人びわ湖芸術文化財団、文化・経済フォーラム滋賀

後援 | 滋賀県教育委員会、東近江市、東近江市教育委員会、

近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会

協力 | 近江鉄道株式会社、金念寺、金壽堂、竹田神社



びわ湖・アーティスト・みんぐる



文化で滋賀を元気に!